

第43回内分泌糖尿病心理行動研究会

日時 : 2026年3月1日(日) 13:00~17:10

会場 : オンライン(Zoom)

テーマ : 「療養指導を進化させるAIとコミュニケーション」

参加登録方法は裏面を参照してください

開会の挨拶(13:00~13:05) 大西俊一郎(国際医療福祉大学糖尿病・代謝・内分泌内科)

講演1(13:05~13:45) 座長 大津 成之 先生(中野島糖尿病クリニック院長)
演者 坂入 洋右 先生(常葉大学教育学部心理教育学科教授)

「新しい時代の糖尿病患者支援
: 情報科学に基づく患者主体の全人的アプローチ」

講演2(13:45~14:25) 座長 深尾 篤嗣 先生(茨木市保健医療センター所長)
演者 桐山 加奈子 先生(千葉大学医学部附属病院
総合医療教育研修センター特任助教)

「AIが情報を扱う時代に: 表現としてのナラティブが拓くケアとエンパワメント」

休憩(14:25~14:30)

症例発表1(14:30~14:50) 座長 橋本 祐子 先生(那須中央病院)
演者 椎木 洋子 先生(東大阪病院リハビリテーション部)

「AI活用は“無理”から始まった —コーチングセンスが拓いた可能性
～療養指導の現場に拓けるリハ・栄養・口腔連携～」

症例発表2(14:50~15:10) 座長 橋本 祐子 先生 演者 山本 美保(Newとらる co.)

「メタボ対策・生活習慣の改善 AIによるコーチング的関わりが
有用であった症例～糖尿病療養指導に役立つヒント」

講演3(15:10~16:20) 座長 山本 美保 先生
演者 岸 英光 先生(コミュニケーショントレーニングネットワーク®統括責任者、岸事務所代表)

「糖尿病療養指導に機能するパラダイムシフトコミュニケーション
(コーチングも踏まえて)」

休憩(16:20~16:25)

講演4(16:25~17:05) 座長 大西俊一郎
演者 田丸 司 先生(偕行会リハビリテーション病院 病院長)

「AIと学ぶ臨床コーチング(糖尿病への療養指導例を含めて)」

閉会の挨拶(17:05~17:10) 山崎 真裕 先生(京都第二赤十字病院 部長)

代表世話人挨拶

「療養指導を進化させるAIとコミュニケーション」について 大西俊一郎

昨今、AIという言葉をよく耳にするようになりました。人の心と相対して行う療養指導とAIは一見かけ離れているように見えますが、実際にAIは色々と手助けをしてくれるようです。講師の先生方からは、AIが有効であった症例からAIの具体的な使い方、今後の医療者としてのAIとの付き合い方に至るまで幅広くお話を頂きます。

幹事

大津成之 (中野島糖尿病クリニック、関東事務局)

大西俊一郎 (国際医療福祉大学医学部糖尿病・代謝・内分泌内科)

橋本 祐子 (那須中央病院)

山本 美保 (Newとらる co.)

参加登録方法・参加費

下記Peatixより申し込みください。

<https://43th-endo-diabetes-psycho.peatix.com/view>

申し込み期限: 2026年2月28日(土) 12:00

参加費: 2,000円

(製薬会社などからの援助を受けることが大変困難になってしまったため、やむなく値上げしました。ご了承ください。)



お問合わせ先

第43回内分泌糖尿病心理行動研究会事務局 当番世話人:

大西俊一郎(国際医療福祉大学医学部糖尿病・代謝・内分泌内科)

メールでの連絡をお願いします shun_ons@yahoo.co.jp

単位申請要件について

○ 日本糖尿病療養指導士認定(CDE-J)の対象研修会(申請中)

研修開始時・終了時・研修途中1回以上の計3回以上、それぞれ異なるキーワードを主催から発信し、開催当日の全てのキーワードを正しく提出した受講者に対して参加証を発行します。

○ 地域糖尿病療養指導士(申請中)